

作成（2025 年度）

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	中村圭司
所属機関名	生物地球学部・生物地球学科
職位	教授
在籍年	28

教育の責任

生物地球学部生物地球学科に所属していて、動物学、昆虫学およびそれらのフィールドワークに関わる専門科目や卒業研究、学内外のイベント等を担当している。1 年生のチューター業務を持っている他、ゼミ生の研究指導や就職指導の役割も担っている。

教育の理念

フィールドワークを主要な教育・研究方法とし、自然のしくみ、生物と環境の関わりに関する幅広い知識を習得させ、自分で考える能力を持つ人材を育成する。

教育の方法・方針

フィールドワークを主要な手段として用いた専門的、かつ学際的な教育・研究を行う。室内での講義に加え、野外調査と収集資料の観察や解析を通じて、学際的かつ統合された知識や技能を身につけさせ、科学的な問題解決能力を修得させる。ゼミ活動においては、学生の自主性を尊重しながら、野外での活動等の際は互いに協力しながら作業を進めさせる。

教育の成果

- ・授業評価の満足度は講義科目では 74～91%が「満足」または「ほぼ満足」であった。
- ・卒業研究は学生自身の考えや意見を尊重しながら進めている。テーマによっては研究成果を学外における市民参加のイベント等で発表させている。
- ・附属高校のサイエンスワーク、附属中学の自然教室、小学生対象の昆虫調査隊、市民参加の生き物調査等の学外での出張講義等を積極的に行うことにより、幅広い年代に対する継続的な教育を行っている。また、それらのイベントを学生に手伝ってもらいながら実施することにより、大学生への教育効果も期待できる。

今後の目標

- ・生物地球学科に昆虫学コースができたことから、生物学全般を中心にしていた講義を、より昆虫学にシフトした講義にするよう検討する。
- ・昆虫学コースで新たに開設される講義、実習が 2027 年度に始まるので、それに向けた準備を進めていく。
- ・様々な業務の負担が年々増加している中で、大学における教育だけにとどまらず、学外でのイベントや出張講義等を、最低でも現状維持で行うことを目標とする。

根拠資料

講義シラバス、授業アンケート（2021～2025 年度）、学外イベントの案内（附属高校 SW、附属中学自然教室、旭川かいぼり調査、おもちゃ王国昆虫調査隊など）